

2025（令和7）年の伊賀市10大ニュースの概要

1月 上野総合市民病院と名張市立病院の外来相互診療の開始

伊賀地域の上野総合市民病院と名張市立病院が、今年1月から週に1回の外来相互診療を開始しました。上野総合市民病院からは肝胆脾外科医が、名張市立病院からは呼吸器内科医（今年7月からは総合診療科医）が出向き、地域医療の充実を図っています。この取組みは県内でも珍しく、医療の質向上に寄与しました。

2月

11月 JR関西本線名古屋-伊賀上野を結ぶ直通列車・観光列車「はなあかり」の実証運行

12月

伊賀市を含む県内の沿線自治体とJR西日本から構成される関西本線活性化利用促進三重県会議が、沿線地域外からの観光客の移動需要の検証を目的に、2月に名古屋駅と伊賀上野駅を直通で結ぶ実証列車の運行を行いました。また、11月、12月には関西方面からの誘客を目的に県内ではじめてとなる観光列車「はなあかり」の実証運行を行いました。

4月 パートナーシップ宣誓者へ事実婚同様の続柄表記による証明書を発行開始

性的少数者への理解を深め、権利を守るために人権施策の一環として、伊賀市パートナーシップ制度に基づく宣誓者に対し、事実婚と同様の続柄表記による行政証明書の発行を開始しました。このことにより、より多くの市民が自身の関係性を証明できるようになりました。この取組みを通じて、多様性を尊重し、誰もが安心して暮らせる社会をめざしていきます。

5月

8月 市長の広聴広報機能の強化として「ふれあいトーク」・「一日こども市長体験」の実施

市長の出前講座「あなたと話したい！市長ふれあいトーク」が始まりました。この講座は毎月2回程度開催し、今年は11回実施しました。参加団体の方々と意見を交わし、現場で頑張っている皆さんのお話を伺うなど、市民の皆さんとの声を直接お聞きすることができました。今後も市民の声を大切にし、より良い伊賀市をめざしていきます。

さらに、未来を担う子どもたちを対象に、「一日こども市長体験」を実施しました。この体験では、10人の小学生が市長と直接対話し、自分たちの考えや感じていることを伝えました。子どもたちが、市長の公務や市の課題について学ぶことで、市政への関心と理解を深め、郷土愛を育むことを目的としています。

7月	新たな拠点誕生！「旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE」と伊賀流忍者体験施設「万
8月	川集海」オープン

旧上野市庁舎がリニューアルされ、複合施設「旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE」として7月19日にオープンしました。この施設には観光案内所、物産販売、宿泊施設、カフェが併設され、地域の皆さまや国内外の観光客を迎える準備が整いました。

さらに、伊賀流忍者体験施設「万川集海」も8月27日にオープンしました。ここでは「伊賀流忍者」をテーマに、五感を使った体験型アクティビティを提供し、地域の観光資源としての魅力が一層高まることを期待しています。

また、丸之内地下道の美装化も完了し、10月10日から新しい観光情報発信のストリートとして生まれ変わりました。地下道のディスプレイが一新され、地域の観光名所や文化、歴史を紹介しています。新たな拠点の誕生をぜひご体験ください！

8月	伊賀の伝統と祭りが大阪・関西万博に登場！
9月	

8月22日、大阪・関西万博の三重県ブースにおいて、伊賀市の国指定伝統的工芸品「伊賀焼」と「伊賀くみひも」の実演展示が行われました。伊賀焼では、参加者が陶土に触れながらおわんの形を作る体験を楽しみ、伊賀くみひもでは帯締め作成の実演や、実際に組みひもを組む体験が行われました。これらの体験を通じて、多くの方に伊賀の魅力を伝えることができました。

さらに、9月22日には、大阪・関西万博のメインステージ（EXPOアリーナ）で「MIEフェスティバル in EXPO」が開催され、伊賀市からユネスコ無形文化遺産である「上野天神祭」と「勝手神社の神事踊」が出展されました。上野天神祭のダンジリ行事のお囃子鬼行列や、勝手神社の神事踊の優雅な舞いが披露されました。また、アリーナでは伊賀市の事業者による物産販売やガラポン抽選会も実施し、市への誘客を促進しました。

万博という国際的な舞台で伊賀の伝統文化やブランド力を広く発信できたことは、今後の誘客や地域活性化に繋がる重要な取組みとなりました。伊賀市の魅力をぜひご注目ください！

9月	第3次伊賀市総合計画の策定
----	---------------

伊賀市では、令和7年度から令和10年度までの4年間を計画期間とする第3次総合計画を策定しました。この計画のめざす姿は「すべてのひとが輝く 地域が輝く ~みんなで話そう 伊賀市の未来~」です。10年先の未来を見据え、4年間で取組む政策を体系的にまとめています。

また、計画では「こどもが育つ、大人も育つ」「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」「つながりを結び直す」の3つの「みんなのテーマ」を掲げています。このテーマに基づき、市民やさまざまな団体が協働し「共感による参加型社会」を築き、将来像の実現をめざします。

9月 戦後80年平和の集いなど平和事業を実施

ヒロシマとナガサキの被爆、そして太平洋戦争の終結から80年を迎える伊賀市では「戦後80年平和の集い」を実施しました。この集いの目的は、次世代の平和構築に向けた人材を育成することです。

平和の集いに向けて、例年行っている「非核平和推進中学生広島派遣事業」の学習内容を強化しました。全国22都道府県、72市区町村から約800人の中学生・高校生が参加する交流会にも参加し、事前学習で得た平和への思いを発信しました。

また、市内の戦争遺跡を活用し、緑ヶ丘中学校と伊賀鉄道丸山駅に「平和のサイン」を設置しました。さらに、戦争遺跡のフィールドワークも企画・実施しました。

また、戦後80年の意義を市民に伝えるため、「伊賀市非核平和都市宣言」を掲げた懸垂幕を市庁舎に設置し、啓発活動を行いました。市の広報には戦後80年に関する特集記事も掲載しました。

平和の大切さを改めて考える機会となることを願っています。

9月 子どもの医療費の窓口無料化を18歳まで拡大

安心して子育てができる環境を整えるため、子どもの福祉医療費の受給対象者を拡大しました。これまで15歳までだった対象者の年齢を、18歳までに延長しました。これにより、三重県内の医療機関での窓口負担が無料となり、子どもたちの医療へのアクセスがより一層向上します。この取組みは、子育て家庭の負担軽減を図り、地域の福祉を充実させるものです。

10月 プロ野球ドラフト会議における伊賀市出身2選手の指名

プロ野球ドラフト会議において、藤原 聰大（ふじわら そうた）さん（花園大学）が、東北楽天ゴールデンイーグルスから第1位指名を受けました。西川 篤夢（にしかわ あつむ）さん（神村学園伊賀）が、広島東洋カープから第6位指名を受けました。両選手の活躍を心より期待しています。伊賀市から新たなスター選手が誕生することを楽しみにしています！